

範士候補者推薦書の記載について

全日本剣道連盟

1. 本推薦書は、各都道府県剣道連盟会長の推薦であるので、本人記載ではなく、貴連盟で作成のうえ、提出してください。
2. 推薦書は、剣道・居合道・杖道、共通となっていますので、該当するものに○印をつけてください（以下、剣道とあるのは居合道・杖道にそれぞれ読み替え、または準用するものとする）。
3. 氏名（フリガナ）・生年月日・満年齢・本籍・現住所・教士取得年月日・八段取得年月日・全剣連番号・最終学歴は、正確に記入してください。
※60歳未満の方は、過去15年以上範士に合格していませんのでご留意ください。
4. 職業および連盟役員は、現職を記入してください。
5. [職歴]は、年次ごとに役職名も含め、具体的に記入してください。剣道団体の運営等についての経験や実績はこの欄に記載してください。
6. [剣道人として実践してきた実績] 剣歴を記入する場合は、具体的に列記（全国、地区大会の順）し、入賞などの際はその旨を付記してください。（○○先生に師事等の記入は不要）
7. [指導者としての実績]は、指導実績を具体的に記入してください。講習会講師、大会審判員、審査会審査員等の業務についても記入してください。また、現在の登録団体以外での実施等についても、わかる範囲で記載してください。
8. [論文、講演録などの専門的業績]は、剣道に関連して所有する資格とし、発表年次、表題を記載するとともに重要なものは、本推薦書に添付してください。
※論文・講演録がない場合は、講習会や研修会で行った具体的指導内容等を記載してください。
9. [人物、識見、剣理に対する評価]は、本人の申告によるものではなく、活動している団体での評価を詳細に記載してください。
10. [剣道およびその他、武道修行全般に関するこ]は、剣道候補者は居合道、杖道その他の武道歴とし、受有する称号・段位および修行全般に関するこについて記載してください。
11. [賞罰]は、年次ごとに記載してください。
12. [推薦理由]は、推薦者である貴剣連会長の自筆またはこれに準ずる形式で会長の責任において、記載いただくとともに、会長の署名を必ずしてください。
13. 全日本剣道演武大会参加実績は、必ず記入してください。
14. 本推薦書に書ききれない参考資料のある場合は、別に「参考」として添付してください。

※推薦書の各項目は必ず記入し、「特になし」という記述や空欄のまま提出することのないようにしてください。

※審査前に形式確認を行いますので、上記に沿った記述でない場合、実質審査がなされないこともありますのでご留意ください。